

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者:村上

会議名: 第5回 A 野洲川河川敷・伏流水再生プロジェクト推進会議

日時: 平成 28年 9月 2日(金) 午後7時30分～8時48分

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 尾村、津田藤、津田昭、森田重、平野、勝見

出席者(行政): 館長、会館主事

使用資料: 次第、小学校用掲示ポスター(案)「公園の愛称が決まりました！」

議題

- ・野洲川中洲親水公園の愛称決定について
- ・今後の取り組み内容について
- ・その他
- ・次回の会議について

会議要旨

内容

●野洲川中洲親水公園の愛称決定について

《報告内容》

- ・前回会議(7月27日開催)にて、愛称を「あめんぼう」と決定した。
- ・8/3の自治会長会、8/6の常任理事会に報告し、常任理事会から承認を得た。
- ・8/6のなかす夏まつりの場で愛称を発表し、提案者へ賞状・副賞(ギフト券)を贈与した。
- ・学区広報誌「中洲の窓」9月号に愛称決定記事を掲載した。

《協議事項》

- ・多数の応募をしてくれた中洲小学校児童向けに、愛称決定のポスターを作成・掲示する。
⇒異議なし。ポスター(案)を修正し、小学校へA3サイズのポスター掲示を依頼する。

《親水公園の状況》

- ・条件が整わず、自治会長会で開放を差し止め中。

(課題)

- ・小浜通学路の安全確保 → 夏休み中にグリーンベルト施工済み
- ・仮設トイレの設置 → 9/5の週に設置
- ・車の誘導看板の設置 → 設置済みであるが、矢印の向きの確認中
- ・担当課としては、課題の解消後、9月の自治会長会で公園開放の確認を行ない、9/8から開放することを希望している。
- ・第2期工事は9月入札、10月から施工予定。国交省は、今年度に降り口2ヶ所を設置することを検討している。→その場合、児童遊具の設置も早く進める必要がある。
- ・小学校は、夏休み前の地区懇談会で、児童が保護者を伴わずに川に行くことを禁止している。

(裏面に続く)

決定事項

- ・中洲小学校向けに愛称決定のポスターを作成し、掲示を依頼する。
- ・市外の河川公園への視察研修を実施する。

次回以降について

- ・視察研修の詳細決定について

次回会議は10月25日(火)午後7時30分～
視察研修は12月3日(土)

会議要旨

●今後の取り組みについて

- ・公園の利用(活用)方法のイメージがなかなか描きづらい。
 - ①市外の河川公園へ視察研修
 - ②野洲川の昔の状況を聞く のはどうか？
- まずは、市外の河川公園へ視察研修(①)に行くこととした。

《視察研修について》

- ・行先については、河川レンジャーの根木山氏や他のレンジャーの方へ相談する。
 - 地域振興へ依頼する
- ・研修内容は、ソフト面(活用方法)や管理面といった話題を中心に担当者からの説明を受ける。
- ・市バスの使用ができない場合、まるごとの交付金で民間バスを借り上げる。
- ・研修日は12月3日(土)に決定。
 - 行先の候補地を根木山氏や他のレンジャーの方へ相談し、リーダーと事務局で調整する。

《その他の意見》

- ・親水公園内での禁止事項の周知が必要。
 - 禁止事項の看板化を館長から依頼済み。
 - ※公園の利用方法は自治会長にしか伝わっておらず、Aプロメンバーには周知できていない。
 - (公園の開放が延期されたため)
- ・親水公園の自然環境保全・創出広場がネック。どのように管理するか？
 - (例)ヤギやヒツジを飼う ←草刈りの手間は減り、子ども寄せにもなるが、動物の世話はさらに大変。
- ・地球市民の森の公園は遊具が子どもに大人気。
 - 親水公園は、「川」を使った集客はどうか。
 - (例)カヌー、カヤック、タブネ、タライ 等

●その他

- ・なかず野洲川たんけん隊の記事が広報「もりやま」9月1日号に掲載された。
 - 第4回目の「野洲川レストラン」(9/11開催)への参加周知。